

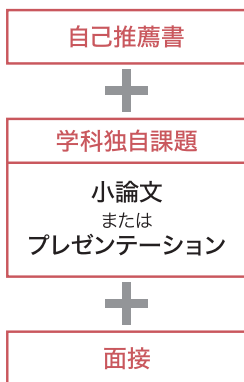
国際教養学科

■ アドミッション・ポリシー

国際教養学科は、カリキュラム・ポリシーで定める教育内容を修め、ディプロマ・ポリシーで定める基準に達する見込みがある者として、次のような人物を求める。

知識・技能	●コミュニケーションのツールとして、英語、中国語または朝鮮語の修得を目指す人。 ●国際社会にふさわしい教養とマナーを身につけようとする人。
思考力・判断力・表現力等の能力	●社会および経済の発展、観光、防災、環境問題、地域の活性化などに関心を持ち、政策企画・立案・実施できる能力を身につけようとする人。
主体性・多様性・協働性	●アジア・太平洋地域を始め国際的な場において、人々と協力しながら自分の力を発揮できるよう努力する人。 ●海外留学や国内外のさまざまな体験学習に積極的に参加する意欲のある人。

選考方法



学科独自課題

小論文

「総合的な探究の時間」ではどのような課題で取り組みましたか。以下の点について、800字程度にまとめてください。

- ①設定した課題とその課題に決めた理由について述べてください。
- ②課題解決に向けてどのような情報収集や調査をしましたか。
- ③情報収集や調査の整理・分析から何を学べて、その結果から何を感じましたか。

プレゼンテーション

「総合的な探究の時間」ではどのような課題で取り組みましたか。以下の点についてまとめて、発表してください。

- ①設定した課題とその課題に決めた理由について
 - ②課題解決に向けた情報収集や調査について
 - ③情報収集や調査の整理・分析から学ぶことができたこと、またその結果からあなたが感じたこと
- (発表10分、質疑応答10分)

[プレゼンテーション資料について]

- ・プレゼンテーションの形式は問わない(Microsoft PowerPoint、紙媒体、その他)。当日持参する。
- ・プレゼンテーション用のファイルを用いる場合は、Microsoft PowerPointまたはPDFで作成し、USBメモリに保存の上、試験会場に当日持参する。万一の場合に備えて、A4サイズに印刷したものを2部持参する。
- ・使用可能なPCはWindows10、コネクタはUSB Type-Aに限る。
- ・試験監督者への資料配布は任意とする。配布する場合は2部持参する。

評価ポイント

自己推薦書

- ①国際教養学科を志望する理由
- ②これまでの学習成果、社会活動(ボランティア活動など)、課外活動
- ③本学科の入学者のアドミッション・ポリシーとの整合性

学科独自課題

- 小論文
 - ①課題の内容を明確に記述することができる。
 - ②自分の意見を論理的に伝えることができる。
 - ③適切な日本語で文章表現ができている。
- プレゼンテーション
 - ①プレゼンテーション内容の構成力と表現力
 - ②課題に関する情報収集・調査への取り組みや工夫
 - ③口頭発表における説明の的確性
 - ④質疑に対する明解な応答

面接

- ①国際教養学科で学びたいという意欲
- ②世界や地域に関する動きやニュースについての基礎知識
- ③コミュニケーションを積極的に行おうという姿勢
- ④多様な環境の中で他者と協働して主体的に課題に取り組もうとする姿勢